

# 地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 23日

（報告先）  
横浜市長

住所 横浜市神奈川区金港町5-36

氏名 メトロ自動車株式会社  
代表取締役 秋元 康尚

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	メトロ自動車株式会社 代表取締役 秋元 康尚					
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市神奈川区金港町5-36					
主たる事業の業種	大分類	H 運輸業、郵便業				
	中分類	43 道路旅客運送業				
該当する 事業者の要件	<input type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）				
	原油換算エネルギー使用量		kl	自動車の台数	111	台

## 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度	～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	----	---	------	----	------	------	----

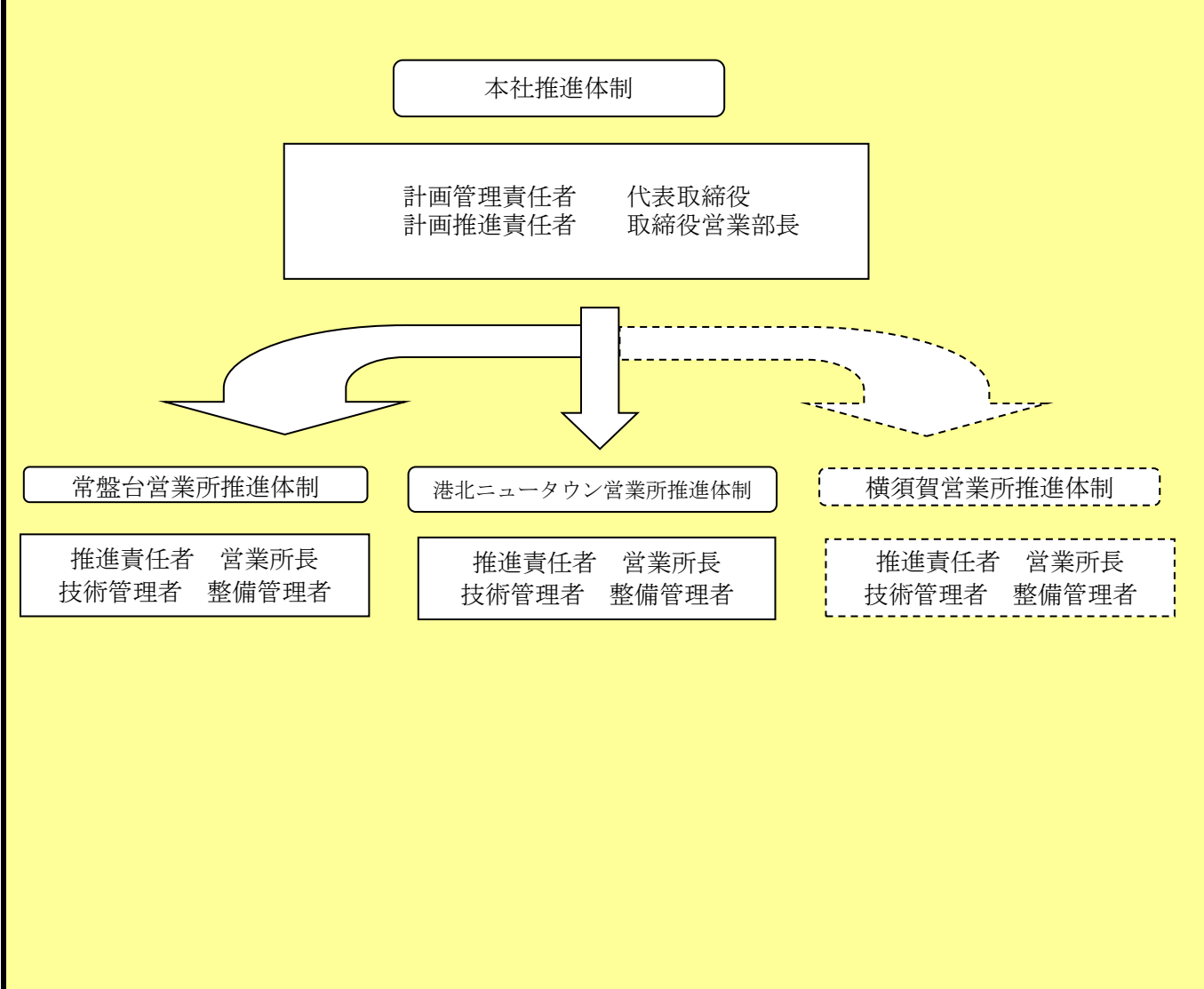
## 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針] アイドリングストップ車両を導入し、二酸化炭素排出の削減を図ると共にアイドリングストップ運動の実施を進めていく。さらに目標燃費を設定し温室効果ガスの排出の抑制を図る。</p>
--

4 推進体制

メトロ自動車株式会社の推進体制は、計画推進責任者として全体を統括する責任者を本社に置き役員営業部長とする。推進責任者として営業所責任者の各営業所営業所長とする。技術管理者は、整備部の各営業所整備課整備管理者とする。

整備管理における管理体制は、整備管理者が整備管理規定、車両使用管理規定、燃費管理体制、燃費一覧表により車両の適切な維持管理を行う。また、乗務員への指導管理については、推進責任者がデジタルタコグラフ、燃費管理一覧表、マニュアル「エコドライブのポイント」を活用しエコドライブの推進の為の指導教育をする。



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	メトロ自動車 本社
	所在地	横浜市神奈川区金港町5-36
	閲覧可能時間	13時から15時（月曜日～金曜日の平日）
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	削減率		%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	4,264	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位	0.55	t-CO <sub>2</sub> /	千km
	調整後	4,264	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位	0.53	t-CO <sub>2</sub> /	千km
目標年度 (2018年度)	目標排出量	4,136	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.0 %	削減率	3.6 %		
排出の抑制に係る 目標の設定の考え方	アイドリングストップ運動の推進とアイドリングストップ車両の導入、燃費目標を設定し、基準年度における排出量原単位を削減するように努めていく。								
事業者全体としての 目標等									
第一年度 (2016年度)	排出量	3,935	t-CO <sub>2</sub>	削減率	7.7 %	排出原単位	0.53	t-CO <sub>2</sub> /	千km
	調整後	3,935	t-CO <sub>2</sub>	削減率	7.7 %		削減率	3.6 %	
目標等の達成状況 及び説明	アイドリングストップ運動の推進とアイドリングストップ車両の導入の結果、燃費目標の原単位に達成、今後さらに基準年度における排出量原単位を削減するように努めていく。								
第二年度 (2017年度)	排出量	3,218	t-CO <sub>2</sub>	削減率	24.5 %	排出原単位	0.51	t-CO <sub>2</sub> /	千km
	調整後	3,218	t-CO <sub>2</sub>	削減率	24.5 %		削減率	7.3 %	
目標等の達成状況 及び説明	アイドリングストップ運動の推進とアイドリングストップ車両の導入の結果、燃費目標の原単位に達成、今後さらに基準年度における排出量原単位を削減するように努めていく。 新型車両ジャパントクシーの導入を進める。								
第三年度 (2018年度)	排出量	3,323	t-CO <sub>2</sub>	削減率	22.1 %	排出原単位	0.50	t-CO <sub>2</sub> /	千km
	調整後	3,323	t-CO <sub>2</sub>	削減率	22.1 %		削減率	9.1 %	
目標等の達成状況 及び説明	アイドリングストップ運動の推進とアイドリングストップ車両の導入の結果、燃費目標の原単位に達成、今後さらに基準年度における排出量原単位を削減するように努めていく。								
計画期間全体の排出 状況に関する説明	アイドリングストップ運動の推進とアイドリングストップ車両の導入、新型車LPGハイブリッド車の導入、車両の減少によりCO <sub>2</sub> 排出量の削減と排出原単位の削減がされ目標の達成が出来た。								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計								

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車	118	4,069	118	3,713	111	2,990	111	3,211
合計	118	4,069	118	3,713	111	2,990	111	3,211
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)	5.4	%	5.4	%	8.7	%	20.5	%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況		
第1号及び第2号該当事業者	1 推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	2 主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	3 機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	4 照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	5 エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	6 各種図面の整備	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	7 外気導入量の適正管理	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	8 フィルター等の清掃	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	9 ポンプ、ファン及びブロワの適正な流量管理	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	10 変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	11 室内温度の適正管理	事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	12 地下駐車場の換気管理	事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	13 照明設備の高効率化	事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	14 事務所機器の待機電力管理	事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	15 機器性能管理	設備			(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度	
	16 冷凍機の冷水出口温度管理	設備			(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度	
	17 燃焼設備の空気比管理	設備			(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度	
	18 排出ガス温度の管理	設備			(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度	
	19 蒸気配管のバルブ等の保温	設備			(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度	
	20 工業炉表面の断熱強化	設備			(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度	
	21 コンプレッサの吐出圧の適正化	設備			(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度	
	22 コンプレッサの吸気管理	設備			(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況		
第3号該当事業者	23 推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度
	24 自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	—	136/136	年度		実施済	—	136/136	年度		実施済	—	118/118	年度		実施済	—	118/118	年度
	25 エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	—	136/136	年度		実施済	—	136/136	年度		実施済	—	118/118	年度		実施済	—	118/118	年度
	26 エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度
	27 自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。  
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。  
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		実施後			削減量 (t-CO2)		投資金額						
																燃料・熱・電気等の使用量		CO2排出量 (t-CO2)	燃料・熱・電気等の使用量		CO2排出量 (t-CO2)
																種別	使用量		単位	種別	
																千円					
																千円					
																千円					
																千円					
																千円					
																千円					

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	LED照明設備	2018年度	112台 デトック L F O R 040-50 B 他	港北ニュータウン営業所
2	LED照明設備	2018年度	124台 DAEDUCK L F O R 040-50 C 他	常盤台営業所
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1		年度			
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	特になし
計画期間内に実施する対策	特になし
第一年度実績	特になし
第二年度実績	水道の使用料を削減するために洗車場の水栓を一定量しか出ない水栓を使用。洗車用ホースの先に散水ノズルを使用し節水。
第三年度実績	同上

14 実施状況等に対する自己評価

<p>アイドリングストップ運動の推進とアイドリングストップ車両の導入により基準年度排出量4264 t-CO<sub>2</sub>から3323 t-CO<sub>2</sub>に削減目標を達成する。目標原単位も0.55 t-CO<sub>2</sub>/kmから0.50 t-CO<sub>2</sub>/kmと目標値と並び目標を達成した。</p>
--